

赤い羽根共同募金が今年もはじまります

今年も10月1日～12月31日に全国一斉に『赤い羽根共同募金』が始まります。

佐世保市内で集められた募金は、佐世保市内での地域福祉や、施設整備費、ボランティア活動支援などに使用されています。

寄付する人、寄付を募る人、そのボランティアの力で共同募金は支えられています。佐世保のまちをよくいする共同募金への、皆様の温かいご理解とご協力を今年もよろしくお願いいたします。



児童センターからのお知らせ

第22回 羽ばたけ児童センターまつり開催



佐世保市9館の児童センターが合同で、幼児や小学生向けの手作りゲームや工作、アクセサリー作り、音楽体験など、楽しいコーナー盛りだくさんのまつりを開催します。
スタンプラリー形式でガラポン抽選会も行います。

【日時】10月29日(日) 13:00～16:00 (入場受付 15:30 まで)

【場所】山澄児童センター及び山澄地区コミュニティセンター

入場無料

【お問い合わせ先】

児童センターまつり実行委員会(山澄児童センター)
TEL (0956) 31-2557



ボランティア
クイズ
QUOカードが
当たる!

問題! 今回ご紹介した「佐世保伴●会」
●に当てはまる言葉をお答えください!

答えは、ハガキかEメールで ①住所 ②氏名 ③年齢 ④クイズの答え ⑤くれよんの感想・ご意見をご記入のうえ、下記の宛先までご応募ください。抽選で3名様にQUOカード(1,000円)をプレゼントいたします。(当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます)【応募締切】令和5年11月30日(消印有効)

宛先：〒857-0864 佐世保市戸尾町5-1 させぼ市民活動交流プラザ1階
佐世保市ボランティアセンター「ボランティアクイズ」係
E-mail: kureyon@sasebo-shakyo.or.jp



2023年度 第4号
令和5年10月1日



佐世保伴友会と
視覚障がいについて学ぶ



佐世保市社会福祉協議会 ボランティアセンター

〒857-0864

佐世保市戸尾町5-1 させぼ市民活動交流プラザ1階

TEL: 0956-23-3905 / FAX: 0956-42-0102

E-mail: kureyon@sasebo-shakyo.or.jp

時間/10:00～18:45(火～土) 10:00～17:00(日)

休館日/月曜・祝日・年末年始・プラザの休館日

ボランティア情報を直接お届け!
LINE 公式アカウントがあります。



@227atur1



させぼん

10月11月の休館日

10月

2日 9日 10日 16日
23日 30日

11月

3日 6日 13日 20日
23日 27日

「くれよん」はボランティアの方々のご協力によって発行されています。

ボランティア学習会 ～実践 視覚障がい者ガイド～

9月10日（日）に、視覚障がいについて学ぶ実践講座を開催いたしました。

この日はまだまだ日差しが強い中でしたが、佐世保伴友会の皆様と受講生、総勢30名がさせぼ市民活動交流プラザに集まり、講話やガイド体験をしました。

講師の佐世保伴友会所属の視覚障がい者、太田三枝子^{おた み え こ}さんからは、障がいとなったきっかけから、フルマラソンを走るまでの話を聞かせていただき、そんな中で走るきっかけや支えてくれた人達への感謝の気持ちを伝えていただきました。話を聞いた受講生からは「太田さんが若々しく見えるのは心が明るいから。今日の話を聞いてパワーをもらった。」と感想が出るくらい、明るく、楽しい講話でした。



さ せ ほ はんゆうかい く ほ ひろき
(佐世保伴友会 久保宏記代表)

佐世保伴友会は、視覚障がい者とその支援者が交流しながら、視覚障がい者のガイドボランティアを育成しているボランティアセンター登録団体です。

その後、伴友会の久保宏記代表からガイド方法について説明を受け、実際に伴友会の視覚障がいの方と一緒に歩くチーム、アイマスクをするチーム、アイマスクの方をガイドするチームの3つに分かれ、ガイド体験を行いました。

伴友会の方は普段から歩きなれているので、普段私たちが歩くスピードとあまり変わりはありません。ガイドしているはずの受講生が必死についているように見えました。

また、初めてアイマスクをつけて歩くと足を前に出すことがなかなか難しいようで、普段の3分の1程度のゆっくりとしたペースでガイドされていました。



視覚障がいの状態は、全く見えない人もいれば、光を感じることができる人、ある角度であれば見える人など様々です。支援方法もその人にあったやり方が必要になるので、わからないことはあいまいにせず、何が手伝いになるのかをはっきりと聞くことが安心感につながり、良いガイドとなります。

参加された皆様、大変暑い中、ご参加いただきありがとうございました。



この情報紙は「赤い羽根共同募金」の配分を受けて作成しています。

【実践 手引き介助のやり方】



- 誘導する人が半歩前に立ち、肩または、ひじの関節の少し上を握ってもらいましょう。
- 歩く速さは、視覚障がい者にちょうどいい速度をたずねながら無理のない速さで歩くようにしてください。障がい物が多いところや下り坂などはスピードを落として歩いてください。



手引き介助で注意するポイント

- 白杖及び白杖を持つ手には触れないようにしてください。また、手や衣服を引っ張ったり、後ろから押したりすることは大変危険なのでやめてください。
- 2人分の幅が必要なことを常に念頭に置いて手引を行ってください。また、顔や頭の高さも考え、木の枝、軒先、看板などの障害物には、十分に注意してください。

ボランティアはじめて教室

今年も入門講座「ボランティアはじめて教室」を7月16日に9名の受講者をボランティアセンターへ迎えて開催いたしました。

講座ではボランティアという言葉や語源、またそれらが意味すること、ボランティアの原則や活動する上での心構えを中心にお話ししました。

受講者の中には既にボランティア活動を実践されている方もいらっしゃいましたが、改めてボランティアについて知る機会となり、大変ためになったと感想をいただきました。

ボランティアセンターでは出前講座も行なっています。少人数でも承っており、グループや役員会、会社の社員研修などで、ボランティアとは何か、自分たちに何ができるかを考える機会になれば幸いです。

